



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 鍋島 勝雄
- 幹事 中村 良平
- 会報委員長 粟原 藤義



「田んぼとアゲハ蝶」 蜘蛛 康介

<会長の時間>



当クラブの最大イベント IM を 10 月 2 日、伊藤ガバナー補佐・脇本 IM 委員長を筆頭に会員各位の一致団結にて開催できたことに感謝いたします。本日の例会にて参加者スピーチを行なっていただきますので詳細は割愛させていただきますが、第一部の会長歓迎挨拶は原稿用紙を棒読みして上手くいきませんでした。第二部のスピーチは自分の有るがままにさせていただけると同時に二回もスピーチの場をいただき感謝いたします。

さて、明日より 2 日間、高山祭りが開催されます。天気予報は下り坂で雨が心配されますが準備は完全に出来上がりましたので後は神様に祈るばかりです。

毎年祭りにて思うことは、昼間屋台を曳き揃えて薄暗くなる頃、提灯を付けて夜の街を引き回し、いよいよ曳き別れの時に“高い山から谷底見ればよお〜・・・”と曳き別れの歌を子供達と一緒に囃子ながら屋台蔵まで曳いて帰る時“ああ〜ああ〜今年もこれで終わったなど”なんとも言えない哀愁をヒシヒシ感じながら蔵にいられます。

しかし、秋の高山祭りは、哀愁に聞こえるのに対して、春の高山祭りの時には、同じ調子で囃して居るのに陽気に聞こえるのは、私だけでしょうか。歌は自分の感情にてどの様にでも聴き分けが出来る不思議な魔力を持って要ると何時も感じています。今年の例会時のバック・ミュージックは会員の昔を懐かしく思っていたかと同時に情景を思い浮かべていただきたく選定させていただきました。

◎ガバナーより

- ・地区大会における表彰のご案内
小森 丈一 様 永年地区役員表彰

◎ロータリー米山記念奨学会より

- ・米山月間用資料
「米山奨学事業・豆辞典」「2009 事業報告書」「統計・資料」「2009 年度決算報告」「米山奨学友の群像 vol.3」

◎特定非営利活動法人ソムニードより

- ・第 22 回毎日国際交流賞受賞記念講演会・報告会&交流会のご案内
講演会 10月16日(土)14:00~16:00
毎日インテール4階大会議室 大阪市北区梅田3-4-5
交流会 10月17日(日)17:00~21:00
参加費 5,000 円 高山市新宮町 ヤダペンション

<例会変更>

- 高山……………10月28日(木)は、地区大会運営のため
24日(日) 市民文化会館・高山グリーンホテル に 変更
- 美濃加茂 ……10月15日(金)は、おんさい中山道まつり協賛のため
17日(日) 中山道会館 に 変更

<受贈誌>

- 高山中央 RC(会報)、社団法人高山市文化協会(広報高山の文化)、台北東海 RC(会報)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	33 名	12 名	45 名	45 名	100.00%
本日	42 名	—	42 名	45 名	93.33%

<幹事報告>

- ◎RI より
・世界インタラクティブ週間にもなうご案内
- ◎RI 日本事務局より
・10月のロータリーレートについて
1ドル 86円 (現行どおり)



地域を育み大陸をつなぐ

例会報告

<今月のお祝い>

◎会員誕生日



挟土 貞吉 10. 1 伊藤 松寿 10. 1
 中林 和夫 10. 5 (当日欠席)

◎夫人誕生日 (当日、ご自宅へ花束をお届け)

山本 善一郎	千代子 さん	10. 1
平 義孝	八重子 さん	10. 21
井辺 一章	和子 さん	10. 3
内田 幸洋	博子 さん	10. 31
田中 正躬	妙子 さん	10. 28
洞口 良一	澄子 さん	10. 19

◎結婚記念日

山本善一郎	10. 16
垂井 政機	10. 13
田近 毅	10. 21
鍋島 勝雄	10. 21
内田 幸洋	10. 25
河渡 正暁	10. 28
中村 良平	10. 6
門前庄次郎	10. 11
古橋 直彦	10. 18



◎出席表彰

寺田 昌平 6年

◎在籍周年記念表彰

なし

◎3ヶ月表彰

・内田 幸洋 ・河渡 正暁 ・斎藤 章 ・堺 和信
 ・阪下 六代 ・垂井 政機 ・寺田 昌平 ・中林 和夫
 ・鍋島 勝雄 ・新田 敬義 ・門前庄次郎 ・三浦 弘行

<IMについてのお礼>



濃飛分区ガバナー補佐
 伊藤 松寿

先般の濃飛分区IMに関しましては、鍋島会長、脇本実行委員長の下、ホストをしていただいた高山西ロータリークラブ会員の皆様が、各責任分担を担い、最大限のご協力により、無事かつ盛大に開催できましたことは、誠に感謝に堪えません。心より深謝申し上げます。ありがとうございました。

登録数も200を越え、IMの意義である「研修」については新知識の修得、また「親睦」についてはお互いの交流により多いにはかられたのではないかと存じます。

IM実行委員長

脇本 敏雄

10月2日に開催されました「濃飛分区インターシティ・ミーティング」は、盛会裏に無事終了することができ、他のクラブの方々よりもお褒めの言葉を沢山いただき大変喜んでおります。



第一部の本会議につきましては記念講演方式としましたが、伊藤ガバナー補佐のご尽力により、地元出身であり時の人である杉原厚吉氏に講演をお願いすることが出来、大変好評を頂きましたことを大変ありがたく思っています。

第二部に付きましては郷土色を前面に出し、「高山祭り」をテーマに企画いたしました。遠方からのロータリアンは基より、地元の方々よりも大変お褒めの言葉を頂きました。宴席での酒類を飲んだ量にビックリもしましたが、それだけの盛り上がりを見せた証拠だと慶んでいます。これも偏に第一部の担当の寺田昌平副実行委員長並びに第二部担当の鴻野幸泰副実行委員長を始め、西クラブ会員全員の協力の賜物です、改めて皆様に感謝申し上げます。まだ残務として会計収支と報告書作成の仕事がありますが、最後までご協力を宜しくお願いします。

改めて皆様のご協力に対し感謝申し上げます、ありがとうございました。

例会報告

<本日のプログラム> IM報告

IMを振り返って

門前 庄次郎

10月2日のIMの報告と指名を頂きましたので、少し全体のことを、話させていただきます。



今回は当クラブがホストクラブと言うことで、私も会計を仰せつかりましたが、仕事としては予算書を作ったくらいで、何もしておらず、申し訳なく思っております。それでも、最初の立ち上げの会議から参加させて頂きましたが、私も初めての経験であり、これから計画していく事は大変なことだと感じた事を覚えております。何事も段取り8分と言いますが、伊藤ガバナー補佐や脇本実行委員長を初め、中心になって頂いた方たちの熱意が爽り、良いIMになったのだと、感じています。

前半の本会議での講演は高山出身の『杉原厚吉』さんが「世界錯覚コンテスト優勝までの道」と題して、目の錯覚についてオブジェを紹介されながら、いろんなお話をされました。

杉原さんのお話された事の元となっております『だまし絵』はオランダの画家のエッシャーが最初に書いたものだそうで、建築不可能な構造物や、無限を有限のなかに閉じ込めたものなど、非常に独創的な作品を作り上げた画家です。皆さんも一度は見た事のある作品がたくさんあることと思います。

そしてそのようなだまし絵は、絵には描くことができても、3次元の立体としては作れないと言うのが一般的な考えでした。でも、この常識に反して、だまし絵の中には立体として作れるものもあることを発見し研究された一人が杉原さんでした。

杉原さんのホームページを見ると「夢は人から与えられるものではなくて、自分で見つけるもの。だからそれは、自分で考え、自分で行動して探すしかありません。自力と他力の区別を理解し、自力で一步を踏み出して行く事が大切だ。」と言っておられます。

そして講演会では、杉原さんは最後に「次の夢は不可能立体を建物にしたい」という言葉で占められました。いい話を聞かせて頂いたと思っております。

第2部の懇親会は「祭り」がテーマと言う事で、鍋島会長が挨拶の中で、『布袋台のからくりを』実際に持って見え、紹

介されたのは良かったなと感じました。私もあのような形で見させて頂くのは初めてで、とても新鮮でした。高山以外のロータリアンも喜ばれたのではないかと思います。

2時間あまりの懇親会は和気藹々とした雰囲気で行われる事が出来ました。脇本実行委員長や、石井惣司ガバナーエレクトも挨拶の中で、IMの目的とは、各クラブを超えたところで、情報交換をしながら、問題点を掘り起こしたり、また親睦を図る所に有ると、お話をされました。そういう意味では目的を果たせた、いいIMだったように思います。

杉原厚吉先生の特別講演

垣内 秀文

10月1日のIM打ち合せ準備の際、無情にもIMの報



告を次回の例会でお願いしすとの事で、他に指名された門前さん、田中正射さんと話し合った結果、杉原厚吉先生の講演については私が担当する事となりました。今回はIMが地元開催という事で、殆どの会員の皆様に参加されていたので当日は気合をいれましたが空回り、耳に入っては来ませんが出てくほうが多く、英語の文法の場面ではさっぱり、それでも一心不乱で耳を傾けて、何とか一睡もせずに講演に聞き入りました。

世界一受けたい授業でもお馴染みの杉原厚吉先生ですが、トリビアの泉のサイコロの目が出る確率はリアルタイムにテレビ放送で興味深く視聴させて頂きましたが、杉原先生が出演されていた様なのですが、一見馬鹿げた、プチ研究ではありますがそんな番組からの要請にお茶目に答える先生のプロフィールは皆さんご存知なので省きます。専門は数理工学ですが、夢をはぐくむレッスンというメールマガジンを配信していらして、その中を引用させていただきますが、杉原先生は夢とは「こうなったらいいなと単に漠然と思い描く望みではなくて、その実現に向かって自分の人生をかけたと思える望み、その実現に向かって行動しようとするエネルギーが湧き上がってくる望み」と申していて、ある意味私の偏った研究者のイメージを覆すハートの熱さを窺えます。趣味は蕎麦打ちと、だまし絵の立体化とそこでも研究者として一面がでていたようでした。

また話は変わりますがだまし絵とは目の錯覚を利用して見

例会報告

る人に普通とは違った感覚を味わってもらふ事を目的としたもので、何種類もあるようですが第一は講演でも話された**不可能立体の絵**、「第二は**メタモルフォーシス**と呼ばれるもので普通に見ると意味不明ですが、斜めに見ると意味の有る図形が出てくるも、これは車のドライバーから分かりやすいように道路に字を書く場合などで利用されています。第三に**隠し絵**と呼ばれるもので、一つの絵の中にもう一つの絵が隠されているものです。よく雑誌などの後ろのページにある事があって、わたしも時々時間を忘れ没頭します。第四には**タイリングアート**と呼ばれるもので複雑な形のタイルを敷き詰めたパターンに基づいた絵です。今はやりの**3D**も一種のだまし絵なのか？擬似的に二次元から三次元を作り出すのだからやはりだまし絵ですね。

まだまだ沢山種類があるようですが、このようにだまし絵を通じて思う事は十人いれば**10**通りの見方考え方がありますが、一個人でも幾つかの違う角度から物を観たり考えたりする事によって、発明や成功があったりするのかなと思えました。最後に今回のスピーチにあたり何とかせねばと焦り、本屋さんをハシゴして三洋堂さんでやっとの思いで杉原厚吉先生の「だまし絵の描き方入門」を**1680**円で購入しましたが絵が沢山で文字が少なく大変よみやすくなっております。良かったらお近くの書店又はネットでどうぞ！

懇親会報告

田中 正躬

皆様こんにちは。先日のIMに出席された方々ご苦勞様でした。都合で欠席された方につきましては、何と申し上げたらよいでしょうか。



RCで「IM」「IM」とばかり言われますが、前々からIMって何だろうと疑問に思っていました。ようやく、インターシティ・ミーティングの略だと言う事が判りました。

さて、今日は、先日のIMの懇親会の感想をしゃべれと言われましたので、ここに立たせて頂いています。原稿を読みます。

IM本会議の閉会点鐘は、予定時刻より納**20**分早く鳴りました。案内誘導委員長堺さん不在の副でしたので、責任を感じ早速懇親会場の方へ向かっていましたら、ホテル担当者

から「準備中なので少しロビー付近でお待ち頂く様に」との事でした。堺委員長の代理としては「皆こっちに向かってござる、こりゃえらいこっちや」フロント付近に来られた方々に「準備の都合で少しロビー付近でお待ち頂く様」お願いを致しました。其の時はまだコンパニオンもお揃いではありませんでした。それでも**12時30分**前には準備が出来たようで、懇親会場に入れるようになりました。この時、コンパニオンのオネー様より下足札を手渡されて、椅子でないのかと、驚かれた方が多かつたのではないのでしょうか。靴を下足棚に入れ、中に入って、丸テーブルの上に籠に入った料理が有るだけの光景は、普通のお膳の宴会にはない景色でビックリされた事と思います。そんな中、皆席に着ているのになかなか始まりません、でも、司会の河渡さんが落ち着いて見えるので、私としては安心です。

予定の**12時45分**河渡さんの「開会の言葉を直前会長内田幸洋さんより」の案内。内田さんの挨拶に続き、鍋島会長の挨拶、「ご覧のように、丸い座敷テーブルに人数分の料理について、今日は（高山祭）りをテーマにセッティングしました」との説明、料理能の中には他の産物を中心に**10**数品、手の込みように、高山の人は、なるほどと納得です。よそから来た人はどう思われたかわかりません。鍋島会長の話の中で、皆一様に興味を引かれたのは、屋台のからくり人形を待って来られた事でないでしょうか、文化財がどんな風になっているのか、多くの方が関心を待たれたと思います。杉原先生の話と合わせて、最高に良かったと思います。

その後、乾杯へと進みますが、マタマタ目を引いたのが、祝い唄（めでた）です。親睦委員の皆さんご苦勞様でした。台北で使用したと言う袴姿、大変に派手でした。皆さんかつこう良かったし歌も良かったです。列席者に喜んでもらえたと思います。

これで終わりかと思えば、まだまだ続きがあつて、これは祭りとはちょっと赴きが違いますが、野戸さんの千秋楽の謡を添えての、「納めの盃」とこれまた飛騨地方の結婚式では、必ず行なはれた儀式でお開きとは、お見事、お見事、大変に楽しかった**2時間**はあつという間でした。阪下さんの（手に手、輪に輪）のタクトの後、折茂さんの閉会の挨拶は、興奮と酔いで、何をおっしゃったか覚えが無いほど、素晴らしい懇親会であったと思います。鴻野親睦委員長はじめ親睦委員の皆さん、ご苦勞様でした。いろいろ役割分担された方々ご

例会報告

苦労様でした。

感想を話せと言う事で、好き勝手な事ばかり述べましたが、有難う御座いました。

<ニコニコボックス>

●高山RC 早川 宏治 様

先日の素晴らしいIMご苦労様でした。楽しい一日でした。

23・24日年次大会で、皆さまにお世話をかけます。よろしくお願ひ致します。

●濃飛分区 ガバナー補佐 伊藤 松寿さん

10月2日の濃飛分区のIMは、鍋島会長、脇本実行委員長をはじめ、西クラブの皆様の全面的なご協力を得て、誠に盛会に開催させていただきました。心より御礼申し上げます。ありがとうございます。それと挟土さんの復帰おめでとうございます。

●鍋島 勝雄さん

・10月2日IMには、伊藤ガバナー補佐、脇本実行委員長と全会員一致の力で、大成功をおさめて終了出来ました。ここに高山西ロータリーありと、参加クラブよりお誉め頂き鼻高々です。

・明日より高山祭、天気心配ですが精一杯がんばります。

・挟土さん、元気な姿で出席ありがとうございます。また、早川さんようこそ。

●中村 良平さん

1. 高山RC 早川宏治さんのご来訪を歓迎します。
2. 挟土 貞吉さんの復帰を歓迎します。首を長くしてお待ちしていました。
3. IM皆様ご苦労様でした。色々ありましたが『愚か者』を歌って反省し、日曜日は高山カントリークラブ選手権の予選通過で、すっかり失敗を忘れませんでした。こんな幹事ですけど今後ともよろしくお願ひします。

●挟土 貞吉さん

①10ヶ月ご無沙汰しました。この間皆様またクラブよりお見舞いをいただきありがとうございました。これからは皆様方に足手まといになると思いますが変わらぬご愛顧のほどよろしくお願ひ申し上げます。

②IM大盛況だったそうですが脇本委員長さんご苦労様でした。なおクラブの会計を引き受けていただいております有難う御座います。引き続きお世話をおかけしますがよろしくお願ひいたします。色々お助けを頂き感謝しております。

●脇本 敏雄さん

1. 昨年12月に突然病魔に襲われてから、厳しいリハビリを乗り越えて西クラブに復帰された挟土さん、誠におめでとうございます。心より歓迎いたします。
2. 9月24日「高山森のエコハウス」で行われた移動例会では、私の設計した建物の見学会を開いていただきまして誠にありがとうございました。皆様に少しでも住宅のエコ対策に対して理解を深めていただけたのなら幸いです。環境保全委員長の洞口さんにお世話になりありがとうございます。
3. 10月2日に開催されました「濃飛分区インターシティ・ミーティング」は、盛会裏に無事終了することができました。他のクラブの方々よりもお褒めの言葉を沢山いただき大変喜んでおります。これも偏に西クラブ会員全員の協力の賜物です。誠にありがとうございました。しかしまだ残務として会計収支と報告書作成の仕事がありますが、最後までご協力を宜しくお願ひします。

●寺田 昌平さん

- ・濃飛分区インターシティ・ミーティング、皆様に大変ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。ありがとうございました。
- ・本日出席表彰ということで指定席となり、思いがけない事で驚き、財布の中身が心配でした。
- ・今日、全日本とアルゼンチン19:50キックオフ。新監督ザッケローニの真価が問われます。頑張れ!!

●SAA 田中 武さん、野戸 守さん、小田 博司さん、垣内 秀文さん、蜘蛛 康介さん

10月2日のIM、皆さん御苦労さまでした。今迄にない非常に良いIMであったと思います。

●阪下 六代さん

IMが成功裡に終わり、関係者のご尽力に敬意を表します。私こと、体力の限界によりソングリーダーを引退いたしますのでよろしくお願ひいたします。

●小森 丈一さん

- ①伊藤ガバナー補佐、脇本委員長、IMの成功おめでとうございました。参加者全員が満足して帰った事でしょう。
- ②7月にロータリー俳壇に投句したのが今月採られていたので。

例会報告

●田近 毅さん、古橋 直彦さん、米澤 久二さん、
寺田 一夫さん、谷井 伸之さん

IM、伊藤ガバナー補佐、脇本実行委員長はじめ、皆様お疲れさまでした。祭りをテーマの懇親会など、とても素晴らしいIMでした。

●田中 正躬さん

10月2日のIM御苦労様でした。担当責任者方々の緊張されている様子を見て、なるほど大変な行事だったんだと感じました。高山での開催でしたので参加できませんでしたが、参加させていただいた事に感謝します。今日は懇親会について話せとことですのでよろしく願います。

●内田 幸洋さん、古橋 直彦さん

挟土さん長い間お疲れ様。首を長くしてお待ちしていました。

●新田 敬義さん、田近 毅さん

挟土さん、RC復帰おめでとうございます。また経験談等教えて下さい。

●岡田 賛三さん

昨日NHKTVでちらりと出ました。

●堀川 和士さん

『*。入れた 松茸ご飯 いと旨し』マツタケ豊作で12本(1kg)入れた御飯はめっちゃ美味かったです。今日昼も残っているのにザンネン!!

●三浦 弘行さん

前回はニコニコ大賞ありがとうございました。ところで先日実家へ帰ったら、昨年買ったばかりのスタッドレスタイヤ本が盗まれてしまいました(ホイール付時価10万円前後)。くやしい!! 北海道でもうけた分が吹っ飛びました。悪銭身につかずというか、因果応報というか。これからの生活は品行方正、自分を律して生きていかなければならないと感じました。

芋ほり収穫祭 開催!

猛暑や雨不足による芋の生長不良から、予定していた9/23を延期し、10月11日(月・祝)、午前10時より収穫祭を開催しました。



西クラブより会員ご夫人で15名、社会福祉協議会より約50名、飛騨高山高校インターアクトクラブから10名、計約70名の方々にお集まりいただきました。延期しただけの甲斐もあり、最高1.9kgもの大きな芋も収穫できました。芋ほり後引き続き行った昼食会では、大きさ・重さのコンテストも行い、参加者の皆さんに大変喜んでいただきました。



地域を育み大陸をつなぐ